



精神科診断に代わるアプローチ PTMF

心理的苦悩をとらえる
パワー・脅威・意味のフレームワーク

メアリー・ボイル、ルーシー・ジョンストン＝著
石原孝二、白木孝二、辻井弘美、西村秋生、松本葉子＝訳
定価4,180円（本体3,800円＋税10%）
北大路書房 ☎075-431-0361

精神科領域に関わる多くが、心のケアに医学モデルを適用することに限界を感じているはず。本書は、従来の精神科診断によらないアプローチとして英国で誕生したPTMFの、本邦初の入門手引書。注目するのは病名ではなく、その人に起きているストーリーだという視点を手に入れよう。

孤独と孤立

自分らしさと人とのつながり

松本俊彦＝編著

國分功一郎、大空幸星、吉川徹、横山美江＝著

定価990円（本体900円＋税10%）
日本看護協会出版会 ☎03-5319-8018



他者や社会とのかかわりの脆弱さから社会的孤立状態に陥ることが心身に悪影響を及ぼすことは、大きな健康課題として国も認めた。分断を広げたコロナ禍、孤立する高齢者はもちろん、生きづらさや孤独に悩む若者には、どんな支援が必要なのか。ICTでのかわりも含め、誰ひとり取り残さないつながりのあり方を考える。

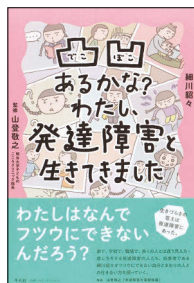
凸凹あるかな？

わたし、発達障害と生きてきました

細川紹々＝著

山登敬之＝監修

定価1,650円（本体1,500円＋税10%）
平凡社 ☎03-3230-6593



筆者は子どもの頃から“普通”を求められ頑張るもののうまくいかなかった。48歳で発達障害の診断を得た後、試行錯誤しながら、どう生きていけば楽なのかを会得。発達障害の特性を持った人が堂々と生きられるように書いたのが本書。漫画で描かれるさまざまな特性はビビッドだ。

緊急度を見抜く！

バイタルサインからの臨床推論

山内豊明＝著

定価2,530円（本体2,300円＋税10%）
医学書院 ☎03-3817-5600



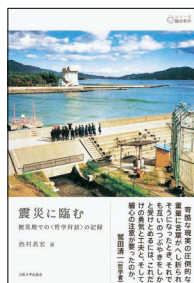
医療者が築き上げてきた経験知を形式知として共有することを目指した1冊。体温、呼吸、血圧、脈拍などのバイタルサインからどのように急変の予兆を読み取ることができるのか。急変時に、バイタルサインをどう活用するのか。しなくていいこと、次にすべきことの根拠と実例が満載。

震災に臨む

被災地での〈哲学対話〉の記録

西村高宏＝著

定価2,750円（本体2,500円＋税10%）
大阪大学出版会 ☎06-6877-1614



人は常に、不意なかたちで被災の現場に投げ出される。2011年、東日本大震災の現場に設けられた「てつづくカフェ（対話の場）」で、未曾有の天災がどう語られたか、さまざまな様相を持つ当事者がどういう思いを抱いたか。そこにいる人の数だけ、言葉と思いが存在することが改めて実感される。